

令和元年度 文京区立金富小学校 授業改善推進プラン

第4学年

教科	指導上の成果と課題の分析	授業改善の具体的な方策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の達成率は、70%であった。全体的に聞く力の弱さが目立つ。話す際にも、相手に分かるようにはきはきと話したり、組み立てを考え話したりすることに苦手意識をもつ児童がいる。 【話すこと・聞くこと】 ・1学期の達成率は、85%であった。文章全体の内容をおおまかに捉えることができる児童は多いが、段落相互の関係を読み取ったり、読み取ったことを自分なりの言葉で表現したりすることが難しい児童がいる。 【読むこと】 ・1学期の達成率は、68%であった。ひらがなや漢字等、文字全般を正しく書くことができる児童が少ない。また、語の意味を捉えること、文と文のつながり、修飾語の関係等、言葉の使い方等にも苦手意識が強い。 【言語事項】 	<ul style="list-style-type: none"> ・話の中心に気を付けて聞くことができるように、話を聞いた後に、質問や感想を述べる習慣付けをする。話す際には、話す目的を意識させ、筋道を立てて話すことができるようワークシート等を効果的に活用していく。 ・叙述の本来の意味を捉えることができるよう、事実に基づいた話し合いを深める機会を多くもつようにする。また、段落相互の関係を考えながら読むことができるよう、文章構成図にまとめる活動を取り入れていく。 ・漢字の意味を考えながら、漢字の習熟を図っていけるよう、習った漢字を使う事や漢字辞典の活用を奨励していく。文を書く際に、色別で表す等の工夫をさせ、主語、述語、修飾語、被修飾語との関係を意識できるようにし、文の構成についての理解を深めさせていく。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の達成率は、90%であった。社会的事象の特色から自分の考えをもつことはよくできたが、相互の関連を踏まえて伝え合う力に課題がある。 【思考・判断・表現】 ・1学期の達成率は、92%であった。しかし、情報量の多い資料から必要なことを読み取ることに苦手意識をもつ児童がいる。 【技能】 ・1学期の達成率は、91%であった。しかし、単元の学習から時間が経つと知識の定着していない状況が見られた。 【知識・理解】 	<ul style="list-style-type: none"> ・事実から考えたことの見解交流や、自分の考えを書いて発表する活動を毎時間取り入れることで、思考力・表現力をさらに高める。 ・グラフや表、地図など資料毎に着目する視点を明確に示し、多くの資料を読み取る経験をさせる。資料の必要部分にICT機器を用いて焦点化するなどの活動を取り入れ、読み取りのポイントを明確にすることで、資料活用力を高めていく。 ・学習問題を解決するための調べ学習や意見交流を多く行い、知識を活用する機会を増やすことを通して定着させる。また、定期的に前単元の復習を行う。

算 数	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の達成率は、55%であった。問題をよく理解せず、数字の順序や曖昧な根拠で演算決定をしている。文章を図に整理して、立式する力に課題がみられる。 【数学的な考え方】 ・1学期の達成率は、81%であった。計算の技能は、よく定着している。一方で、折れ線グラフや二次元表を読み取ったり、表から折れ線グラフにかき表したりすることに課題が見られる。 【技能】 	<ul style="list-style-type: none"> ・式の中の数字が表す意味を考えさせたり、図と式を関連付けて自分の考えを説明したりする活動を意図的に設定していき、自分の考えを筋道立てて説明する力を付けていく。また、友達の考えを読み取り、説明する活動を取り入れ、数学的な見方・考え方を養う。 ・習熟度別学習を効果的に活用して、それぞれの習熟度に適した問題を考え、設定するなど、個に応じた指導をしていく。繰り返し習熟に取り組む時間や適用問題に取り組む時間を確保し定着を図る。また、ICT機器を活用して図などの視覚的な資料を提示し、表やグラフについて理解できるようにする。
理 科	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の達成率は、74%であった。問題解決学習の流れは理解しているが、仮説を立てて分かったことをまとめる力に課題がある。 【思考・判断・表現】 ・1学期の達成率は、60%であった。実験器具を使う学習が増えてきている中、正しい使い方が身に付いていないことが課題である。 【技能】 ・1学期の達成率は、84%であった。なかでも、「電池のはたらき」と「とじこめた空気や水」での理解が低かった。電流や空気、水などの性質を正しく理解することに課題が見られる。 【知識・理解】 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察の結果のまとめ方について、表や図などの様な表現方法を身に付けさせる。また、そこから考えられることや目に見えない事象について、図や絵などに表現して可視化していく力を付けていく。 ・確実に実験器具の使い方を身に付けられるよう、ICT機器を活用して理解を深める。また、全員が自分で実験できるように、用具の準備を充実させる。 ・実験や観察の結果のまとめや考えたことを伝え合う活動を多く設定し、知識を広めたり深めたりできるようにする。また、実験の結果は、表を活用してまとめさせることで、それぞれの性質の違いに気付かせ、知識を正しく定着させる。
体 育	<ul style="list-style-type: none"> ・自分やチームの課題に応じためあてを立て学習に取り組むことに課題が見られる。また、「もっとこうしたほうがよい。」「こういう工夫をしよう。」など、自ら楽しみ方を工夫したり、選択したりする姿も同様である。 【思考・判断】 ・新体力テストの結果では、各項目ともに平均より低い水準にあった。なかでも持久力が低い結果が見られた。 【技能】 	<ul style="list-style-type: none"> ・單元ごとに学習カードを活用して、自分やチームの課題を明確にさせ、めあてをもって毎回の活動を行う。また、グループごとに話し合いの時間をつくり、よりよく活動するための工夫や友達へのアドバイスなどを行わせる。 ・授業の準備運動の時間に、一定の速度で走る運動やなわとび運動を行い、長時間ねばり強く続けていく運動を取り入れる。